

(6) 出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療（止血術）の施行率

分子：分母のうち、「内視鏡的消化管止血術」が算定された患者数

分母：医療資源を最も投入した傷病名が「胃潰瘍」あるいは「十二指腸潰瘍」で「急性、出血を伴うもの」に該当する退院患者数

収集期間：平成 23 年 7 月～平成 23 年 12 月

胃潰瘍・十二指腸潰瘍とは酸やペプシンなどによって胃壁あるいは十二指腸壁が障害され欠損した病態をいいます。出血性胃壁・十二指腸壁の障害部位に血管があると破綻し、出血を起こします。破たんした血管に対しては止血処置が必要であり、一般的には内視鏡的止血術が行われています。H2 受容体拮抗剤の登場以来、外科的手術は大幅に減少し、現在では大量出血や内視鏡での止血困難例、穿孔、狭窄など重篤な合併症を認めた症例に限られています。

指標 15：出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療（止血術）の施行率

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	18		50.0%
080110205	水戸済生会総合病院	25	16	64.0%
096210115	済生会宇都宮病院	55	30	54.5%
110201350	済生会川口総合病院	19	14	73.7%
120210971	済生会習志野病院	19	11	57.9%
130314757	済生会中央病院	45	28	62.2%
140105122	済生会横浜市東部病院	36	31	86.1%
143103439	済生会横浜市南部病院	18	12	66.7%
150120734	済生会新潟第二病院	18	11	61.1%
160115667	済生会富山病院	19	11	57.9%
160212605	済生会高岡病院	12	10	83.3%
180118909	福井県済生会病院	25	19	76.0%
224160042	静岡済生会総合病院	26	17	65.4%
240705053	済生会松阪総合病院	18		50.0%
251200194	済生会滋賀県病院	32	20	62.5%
271607149	済生会千里病院	14		42.9%
272701586	済生会泉尾病院	13		53.8%
274900723	済生会富田林病院	10		60.0%
279600070	済生会中津病院	13	12	92.3%
279600120	済生会野江病院	14	11	78.6%
338800012	岡山済生会総合病院	29	17	58.6%
343111190	済生会広島病院	11		45.5%
350116357	済生会下関総合病院	33	13	39.4%
401119189	済生会福岡総合病院	29	19	65.5%
406619050	済生会八幡総合病院	22	22	100.0%
438211911	済生会熊本病院	67	60	89.6%
	合計	640	426	66.6%

*分母が10症例未満の病院数：7